

質問票

質問				回答 (※本局記載欄)
項番	依頼日	仕様書 項番	内容	
1	4/28	10. その他(4)	再委託禁止について 工事については再々委託が想定されます。 本調達において再々委託の許可をお願いいたします。	物品・ソフトウェア・メーカ保守の調達・納品を除く部分の再委託については、受注者が直接再委託契約を結ぶことが承認の必要条件となります。再々委託は認めません。
2	4/28	6. 2. HW 要件 6. 2. 1. 本番環境 (3)サーバスイッチ	仕様書には、「10GbE 及び 1GbE に対応するインターフェースを 48 ポート」とございますが、1/10GBASE-T (RJ45) を 48 ポート以上実装する必要があるとの認識で間違いございませんでしょうか。	各機器と接続可能なものであれば、1000BASE-T、10GBASE-T 以外の規格でも構いません。また、全ての機器を対応している最高速度で接続できれば、すべてのポートが 10GbE 対応である必要はありません。
3	4/28	9. 2. 保守要件	以下の要件に沿ったメーカ保守を調達すること。なお、ここに記載される保守内容については 6 年の間 (2027 年 12 月 31 日まで) は追加費用が発生しないよう留意すること。とありますが 保守の開始は、いつからを想定しておりますか。	9. 2 に記載するサービスレベルの保守は、2022 年 1 月 1 日から必要です。ただし、2021 年 12 月 31 日までの構築期間においても、初期不良対応や導入支援は必要なため、この対応に必要な場合はこの期間についてもメーカ保守等を調達してください。
4	4/28	7. 構築作業について 7. 1. 共通事項	(3) 既存のネットワークとの接続を行う際に必要であれば、本局のネットワーク機器及び拠点 (25 拠点：全て札幌市内) の既存のセキュリティルータ機器の設定変更を行うこと。とありますが、設定変更は現地で実施し、それに係る費用は落札者負担ということでしょうか。	遠隔で可能な作業であれば、遠隔で実施して構いません。遠隔で設定変更を行うためのパソコンは発注者から提供します (原則、当局環境において NW の監視、運用保守に使用している既存パソコンをご使用いただきます)。 なお、現地作業か遠隔作業かを問わず、係る費用は落札者負担になります。
5	4/28	4. 1. 作業概要	現行システムを確認したところ水質管理システムにて FTP サイトを構築しています。本仕様書の記載にはありませんでしたが、こちらの構築は必要でしょうか。	不要です。
6	4/28	6. 2. HW 要件 6. 2. 1. 本番環境 (5)UPS	10 分経過後のシャットダウンについて、業務アプリケーションの終了方法、終了順番については設計段階で水道局様と調整の場を設けさせていただきたくことでしょうか。	お見込みのとおり、設計段階で詳細化する前提としてください。
7	4/28	7. 1. 共通事項 表 32 納入手順書一覧	セキュリティに関連した手順書、例えば Apex One のパッチ展開手順や WSUS のセキュリティパッチ展開手順、Windows10 端末に対する FeatureUpdate 手順の作成することでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Apex One のパッチ展開手順 については、TrendMicro 社が公開する更新手順や制限に係る情報によって、作業の都度、手順の確認と検討が必要となることが見込まれるため、作成は不要です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ WSUS のセキュリティパッチ展開手順 ・ Windows10 端末に対する FeatureUpdate 手順 については、(Windows Server 2012 R2 の WSUS サーバを前提とした) 既存手順書の利用継続を想定していますので、新規作成

				は不要です。ただし、既存の手順書を確認した結果、変更が必要な箇所がある場合は、修正作業が必要となることがありますが、これについては本調達内に含めてください。
8	4/28	7.4.3. ウィルス対策サーバ (本局) (1)TrendMicro Apex One (ウ)	「TrendMicro ApexOne」への切り替え・移行に要する作業について以下の作業でよろしいでしょうか。 ・水道局様所有の検証端末にて VBCorpXG から ApexOne へアップデートを行う ・各業務システムの担当者にてシステム動作検証を実施する ・動作検証より問題がなければ、全業務端末へアップデートを行う	お見込みのとおりです。 なお、事前検証用端末の ApexOne 化、事前検証用新仮想サーバの ApexOne 導入にあつては、新サーバ環境に構築するウィルス対策サーバ#2 及び#4 の利用を想定しています。 全端末の ApexOne 化、全新仮想サーバの ApexOne 導入にあつては、ウィルス対策サーバ#1 及び#3 の利用を想定しています。
9	4/28	7.4.3. ウィルス対策サーバ (本局) (1)TrendMicro Apex One (イ)表 34	特殊端末とは情報漏洩対策オプションを実装した端末でしょうか。	表 34 の情報漏洩対策オプション欄に記載しているとおり、情報漏洩対策オプションを実装して【いない】端末になります。
10	4/28	7.4.8. ジョブ管理兼運用監視サーバ (本局) (2)運用監視 (ウ)	監視端末は何台構築が必要でしょうか。	1 台の想定ですが、受注者からの提案内容によっては、監視画面の GUI や端末負荷等を考慮し、複数台とすることがあります。
11	4/28	7.4.8. ジョブ管理兼運用監視サーバ (本局) (2)運用監視 (ウ)	管理室内に設置している作業端末へ運用上必要となるソフトウェア構築作業をするという点でよろしいでしょうか。	監視ソフトウェアを導入する端末は、極力他作業用の端末と分ける想定をしておりますが、管理室内の端末へ構築作業を行うという主旨ではお見込みのとおりです。
12	4/28	6.2.2. 災対環境 (7)ラック	(5)UPS バッテリー容量 停電時は～20分間の性能を求められており、本要件を満たすためには、ラック条件の数量 1 本では、設置場所の耐荷重 300kg/m ² を超過する可能性がございます。ラック 2 本で分散させてもよろしいでしょうか。	構いません。 ただし、本項において前提となる耐荷重について、下記のとおり情報が不足していました。後日修正告示を行いますので、ご確認のうえで構成をご検討ください。 <u>修正前</u> 設置場所の耐荷重は、300kg/m ² で想定すること。 <u>修正後</u> 設置場所の耐荷重は、次のとおり想定すること。なお、当該サーバ室内で重量物が設置されている面積は 3 割程度と想定すること。 a フリーアクセスフロア上の床面 300kgf/m ² b フリーアクセスフロア下の床面 (構造

				計算) ・床版用 1000kgf/m ² ・大梁・柱・基礎用 700kgf/m ² ・地震用 450kgf/m ²